

---

---

## 北川工業、カーボンニュートラルに向けたカーボンフットプリント算定のPoCを完了 B-EN-Gのカーボンフットプリント算定システム「mcframe 7 CFP」を活用 インテックがプロジェクト遂行を支援

---

---

北川工業株式会社(愛知県稲沢市、代表取締役社長:平川 佳浩、以下「北川工業」)は、ビジネスエンジニアリング株式会社(東京都千代田区、取締役社長:羽田 雅一、以下「B-EN-G」)のカーボンフットプリント算定システム「mcframe 7 CFP」を活用し、TISインテックグループの株式会社インテック(富山県富山市、代表取締役社長:北岡 隆之、以下「インテック」)との共同支援のもと、温室効果ガス(GHG)の製品単位CO<sub>2</sub>換算排出量(カーボンフットプリント)算定を目的としたPoC(Proof of Concept:概念実証)を完了しましたので、本日発表いたします。

北川工業によるこの度のPoCは、「mcframe 7 CFP」をベースとした初めての試みでしたが、ユーザー側の課題を明確にしつつ、お客様のCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献できることが実証できました。ベンダー側としては、今後の製品開発・支援の方向性を見出すこともできました。

### ■ 北川工業のカーボンフットプリント算定への取り組みの背景

北川工業は、2030年度におけるCO<sub>2</sub>排出量の2020年度比30%削減を目標に掲げており、その目標達成に向けて、GHGプロトコルに基づいたScope1~3の組織単位の排出量の数値化を終えています。そして、次のアクションとして、取引先への製品単位CO<sub>2</sub>排出量の提示およびCO<sub>2</sub>排出量削減活動の本格化を目的に、製品単位のカーボンフットプリントに取り組むことにしました。

### ■ 北川工業の今後の取り組みと「mcframe 7 CFP」への期待

北川工業では今回のPoCの結果を受けて、次のように成果と期待を述べています。

「今回は、主要な13製品に絞って約4か月のPoCを実施しました。その結果、カーボンフットプリント算定を全製品に展開するための、組織的な課題や技術的な課題を明確にすることができました。組織的な課題としては、各部門の役割分担と算定プロセスの整備、技術的な課題としては、購買品・外注品のCO<sub>2</sub>排出原単位の算出や各種のCO<sub>2</sub>排出量配分ルールの整備などが挙げられます。今後、数か月をかけて、これらの課題を解決するための施策を組織横断で取り組みます。」

「mcframe 7の生産実績データに基づいてカーボンフットプリントを算定し、タイムリーで実態に即した情報を開示することで、お客様のScope3可視化・削減に寄与したいと考えています。また、当社目標に対しては、製品単位で具体的なCO<sub>2</sub>排出量の削減策に踏み込めるようになって考えています。」

### ■ 「mcframe 7 CFP」とは

自社開発の製造業向け生産・販売・原価管理SCM総合パッケージ「mcframe 7」に、製品単位でカーボンフットプリントを計算する機能を追加したソリューションです。

mcframe 7 CFP を導入することで、以下のような効果が期待できます。

・生産管理システムの生産実績や、外部の環境データを基礎データにして算定できるので、歩留まりなどを考慮した、実態に即した数値を算出できます。

・1か月から数か月の短いサイクルで算定できるので、季節変動や削減努力による低減などの、時系列の

傾向を把握できます。

・製品別や構成品別、工程別などの視点で排出量を確認できるので、ホットスポットを見出して、集中的な対応を検討できます。

また、CO2排出量削減に向けたさらなる支援のため、将来的には他のmcframeファミリー製品との相互利用で、生産段階だけでなく、製品企画フェーズから経営の評価・分析フェーズまでを通し、お客様の環境負荷課題を総合的に解決していきます。

mcframe 7 CFP の詳細は <https://www.mcframe.com/product/7/cfp> をご覧ください。

#### ■ 北川工業株式会社について

創業期の工業用ゴム製品の販売から始まり、様々なお客様と関わりを持たせていただきながら、「電磁波環境コンポーネント」「精密エンジニアリングコンポーネント」という、現在の中核となる事業へと裾野を広げています。これからも、加速し続ける技術革新の先を読み、よりよい製品、より効率的な生産システム、より革新的なものづくりを目指すお客様のファーストソリューションプロポーザーとしてチャレンジをサポートし、お客様とともに未来を切り開くベストパートナーであり続けます。

北川工業株式会社の詳細は <https://www.kitagawa-ind.com/> をご覧ください。

#### ■ 株式会社インテックについて

お客様の経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、サービス提供、運用保守まで、IT分野において幅広く事業を展開しています。インテックは、1964年の創業以来培ってきた技術力をもとに、AI、RPA等のデジタル技術の活用や、新たな市場の創造にも積極的に挑戦しています。常にオープンな姿勢で、人、企業、社会を技術でつなぎ、自らも変革しながら「豊かなデジタル社会の一翼を担う」企業としてお客様に新しい価値を提供してまいります。

株式会社インテックの詳細は <https://www.intec.co.jp/> をご覧ください。

#### ■ ビジネスエンジニアリング株式会社について

ビジネスエンジニアリングは、製造業を中心としたお客様のデジタル変革をITで支援しています。IT企画からシステムの構築、導入、運用にわたるコンサルティングおよび支援サービス、ならびに自社開発のパッケージソフトウェア「mcframe」の販売、導入で豊富な実績を有しています。また、基幹業務システム(ERP)やサプライチェーン(SCM)、IoT等で蓄積されたデータを活用して、システムの高度化やカイゼン活動をお手伝いしています。中国(上海)、タイ(バンコク)、シンガポール、インドネシア(ジャカルタ)、アメリカ(シカゴ)の5ヶ所に海外子会社を有し、海外進出企業に対しても、日本と現地でよりよい製品やサービスを提供し、お客様の経営課題を解決しています。

ビジネスエンジニアリング株式会社の詳細は <https://www.b-en-g.co.jp/> をご覧ください。

#### 【当報道に関してのお問い合わせ窓口】

ビジネスエンジニアリング株式会社 経営統括本部 広報グループ

電話:03-3510-1619 / E-mail:kouhou@b-en-g.co.jp

#### 【当サービスに関してのお問い合わせ窓口】

ビジネスエンジニアリング株式会社 プロダクト事業本部 営業本部

電話:03-3510-1616 / E-mail:mcframe@b-en-g.co.jp

\*本ニュースリリースに記載されている社名、製品名などは、各社の登録商標または商標です。